

都市再生整備計画
あじきえきしゅうへんちく
安食駅周辺地区(第2期)
(第1回変更)

ちばけん さかえまち
千葉県 栄町

令和6年9月1日

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	☒
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☐

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	千葉県	市町村名	栄町	地区名	安食駅周辺地区(第2期)	面積	170	ha
計画期間	令和6年度～令和10年度	交付期間	令和6年度～令和10年度					

目標
【大目標】:安食駅周辺における都市機能の充実による住みやすいまちづくり
小目標①:道路のバリアフリー化による、良好な移動空間の確保
小目標②:公園バリアフリー化による地域住民の快適な住環境の整備
小目標③:防災拠点整備における地域防災力の強化

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 [まちづくりの経緯] 本町は、千葉県の北部に位置し、東は圏域の中核都市である成田市、西は印西市、北は利根川をはさんで茨城県に接しており、広域的に東京都心からは45km、県都千葉市から35km、また、成田国際空港からは10kmの距離にある。 町域は、東西に約12km、南北に約5kmの東西に細長い地形で総面積は32.51km ² 。町の北部一帯は利根川流域の沖積低地で肥沃な水田地帯が広がり、東部には標高30m前後の洪積台地が広がり、丘陵部には山林が多く、古代から集落が形成されていたとみられる。また、利根川・印旛沼・長門川・将監川といった水辺空間にも大変恵まれている町である。 昭和30年12月に旧安食町と旧布鎌村が合併した当時は10,136人だった人口も、この頃から大都市就業地への人口流出が顕在化し、過疎化傾向が昭和44～50年頃まで続き、一時は8,708人まで減少した。しかし、千葉ニュータウンの建設等といった大型プロジェクトが近隣地域で計画・事業化される中、当町においても首都圏の都市化の影響が及ぶことを踏まえ、栄町総合計画(『水と緑の田園観光都市』:3万人都市づくり構想)を昭和47年12月に策定以降、3万人都市づくり構想実現に向けて準備に入り、昭和52年11月29日、成田都市計画区域に編入。この頃から、役場庁舎に近い安食台地区をはじめ、飛び市街地として整備された酒直台・竜角寺台・南ヶ丘地区の宅地開発事業が開始され、都市計画区域に編入した当時は9,160人だった人口も、入居が開始された昭和58年には10,989人、平成元年には21,346人を数える順調な増加を見せ、その後も微増ではあるが増加を続け、平成8年には26,000人を超え、昭和47年に打ち出した3万人都市づくり構想は概ね達成したが、バブル崩壊後は人口が減少に転じ、現在は19,500人となっている。 [現況] JR安食駅周辺については、本町の中心部に位置し、JR安食駅をはじめ、役場庁舎、文化交流施設などの公共施設や商業施設等の都市機能が整備された地域であり、駅南部地区には土地区画整理事業により住宅地が整備されている。本町唯一の鉄道駅である安食駅周辺の都市機能の更なる充実により、駅を中心とし人の集積、また、更なる都市機能を充実することで駅を中心としたコンパクトシティ化による魅力あるまちづくりを推進する。
課題 【課題】 ①高齢化への対応や子育て世代の定住・移住を推進していくため、ハード面では歩道の段差解消等の良好な歩行空間の確保が求められており、地区住民からも道路バリアフリー化への改善に対する要望が寄せられている。 ②JR安食駅周辺の公園は、昭和50年代の宅地造成に合わせて整備された公園であり、園内設備のユニバーサルデザイン化や公園入口の段差や園路がバリアフリー化されていない状況であり、高齢者やベビーカーを利用する子育て世代から利用しやすい公園環境への改善が求められている。 ③一級河川である利根川に接する町として、大規模災害に備えた浸水想定区域の住民の早期避難に係る受け皿として防災拠点機能の整備が求められている。
将来ビジョン(中長期) [栄町基本構想] 水と緑に恵まれた栄町を、みんなで力を合わせて、住み続けたいまち、住んでみたいまち、誇りと愛着のもてる「ふると さかえ」を目指し、町の将来像「ひとが元気 まちが元気 みんなでつくる水と緑のふると さかえ」を実現するため、8つの基本目標と5つの重点プロジェクトを政策として掲げている。 [栄町後期基本計画] 後期基本計画に位置付けている重点プロジェクト「定住・移住促進プロジェクト」においては、安食駅周辺の良好な住環境の整備を、「災害に強いまちづくり推進プロジェクト」においては、ふれあいプラザさかえ周辺地域における災害支援拠点の整備促進を掲げている。 また、個別の政策として、「生活環境が整った元気なまちをつくる」を基本目標に、町道、公園の適切な維持管理、バリアフリー化や一時避難所として活用できる公園整備、公共交通網の整備などを掲げている。

目標を定量化する指標						
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値 目標年度
バリアフリー化に対する町民の満足度の割合	％	道路・公園のバリアフリー化に対して「満足」及び「どちらかといえば満足」と思う町民の割合	安食駅周辺の道路及びバリアフリー化を進めることで、「満足」及び「どちらかといえば満足」と思う町民の割合を向上させる どちらでもないと回答した49.7%の約3割14.9%の向上を目指す	18.3%	R3	33.2% R10
定住の意向の割合	％	これから住み続けたいと思う町民の割合	住環境の向上により、「ずっと住みたい」及び「当分は住みたい」と思う町民の割合を向上させる。 出きれば住みたくない13.9%の約3割の4.2%の向上を目指す	65.1%	R3	69.3% R10
大規模防災訓練の参加者数	人	災害時支援拠点機能を活用した防災訓練の参加者数	災害支援拠点機能を活用し、地区ごとでしか実施できていなかった防災訓練について町民全体を対象に実施する。	0人	R5	300人 R10

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
方針1:安食駅を中心とした都市機能の充実 ・道路整備事業		《基幹》 ○道路(町道11236号線道路改良事業／町道11264号線道路改良事業／町道11285号線道路改良事業／町道11225号線道路改良事業／町道11231号線道路改良事業／)
方針2:誰もが安心・安全に利用できる公園の整備 ・公園バリアフリー化対策事業		《基幹》 ○公園(酒直台児童公園バリアフリー化対策事業／船戸児童公園バリアフリー化対策事業／高田児童公園バリアフリー化対策事業／鴻ノ巣児童公園バリアフリー化対策事業／小台児童公園バリアフリー化対策事業／五斗蒔児童公園バリアフリー化対策事業／道面児童公園バリアフリー化対策事業／)
方針3:ふれあいプラザさかえ周辺の防災拠点化 ・安食台第一近隣公園防災拠点化事業		《基幹》 ○公園 安食台第一近隣公園:かまどベンチ、マンホールトイレ、防災パーゴラ、井戸水等給水施設、照明、誘導灯、防災倉庫
その他		
○定住・移住の取り組み促進 少子高齢化の著しい進展、また、結婚や就職を機に転出する若年層が増加し、人口減少率が高くなっている。そこで、現在、栄町に住んでいる方が「ずっと住み続けたい」と思えるまちづくり、また、他市町村の方から見て「住んでみたいまち」として選ばれるよう、「定住・移住促進プロジェクト」を総合計画に位置付け、栄町の魅力の発信事業や個別事業を集約し、「定住・移住促進事業群」として取り組み安食駅周辺への定住・移住を促進する。 ・定住・移住奨励金制度 ・転入者子ども加算金制度 ・Uターン同居・近居支援制度 ・住宅リフォーム補助制度 ・大学生等定期代補助制度 ・医療・保育士転入者支援金制度 など ○安食駅南側地区における宅地開発誘導事業 安食駅南側の市街化調整区域については、駅から至近の距離にあり、民間宅地造成により新たな住宅開発が可能なエリアであるため、都市計画道路の整備に合わせ、宅地開発を誘導し、駅前への人口の流入を促進することで、駅前の活性化及び賑わいの創出を図る。 ・宅地開発誘導事業		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金))

様式(1)-④-2

交付対象事業費	186	交付限度額	74.4	国費率	0.4
---------	-----	-------	------	-----	-----

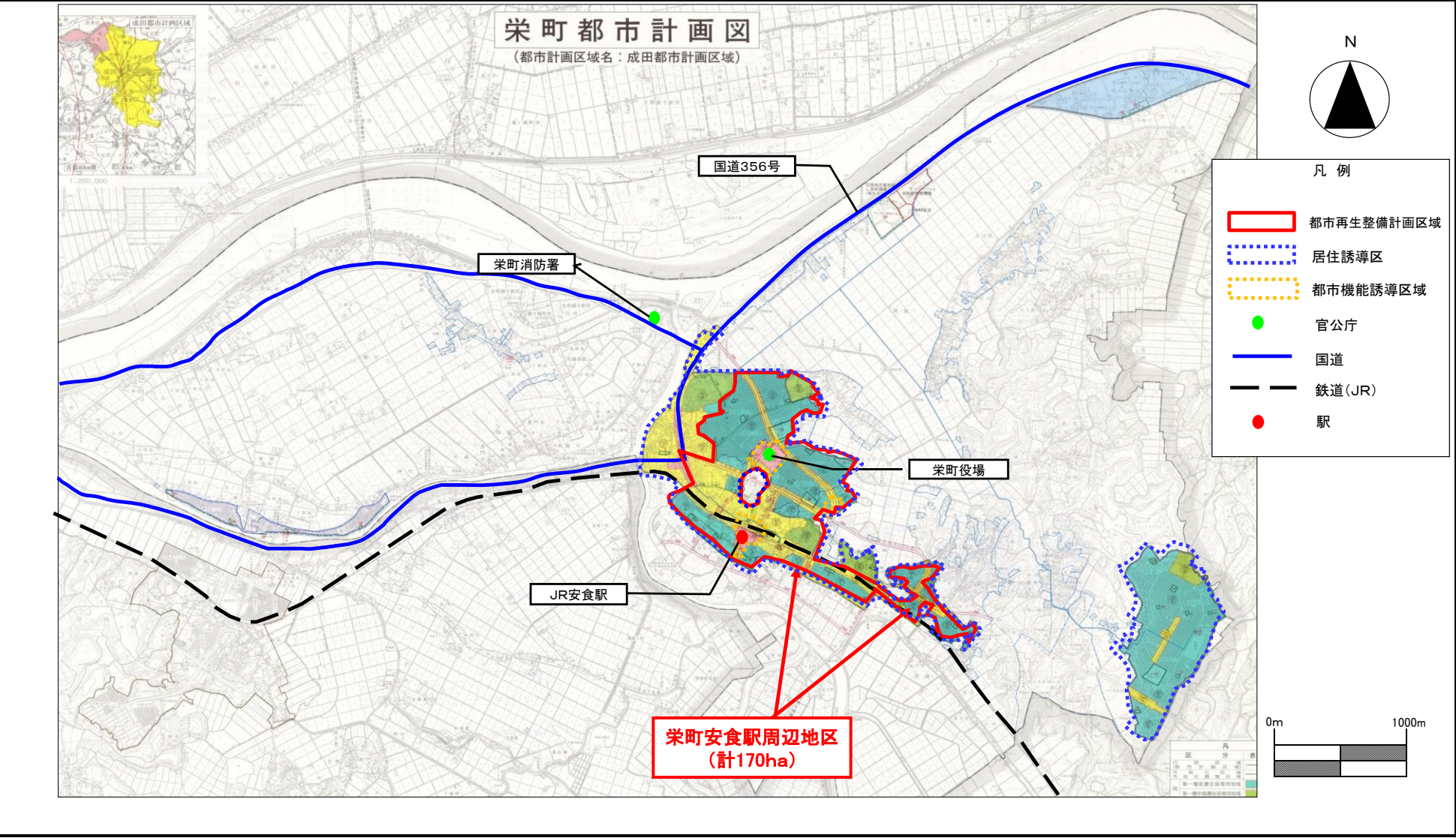
(金額の単位は百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分		うち民負担分	交付対象 事業費	費用便益比 B／C
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分			
道路		町道11236号線	栄町	直	200m	R7	R7	R7	R7	14	14	14		14	—	
道路		町道11264号線	栄町	直	280m	R7	R7	R7	R7	16	16	16		16	—	
道路		町道11285号線	栄町	直	120m	R8	R8	R8	R8	12	12	12		12	—	
道路		町道11225号線	栄町	直	30m	R9	R9	R9	R9	8	8	8		8	—	
道路		町道11231号線	栄町	直	30m	R10	R10	R10	R10	8	8	8		8	—	
公園		酒直台児童公園	栄町	直	4,500㎡	R6	R6	R6	R6	9	9	9		9	—	
公園		船戸児童公園	栄町	直	2,500㎡	R6	R6	R6	R6	8	8	8		8	—	
公園		高田児童公園	栄町	直	1,100㎡	R6	R6	R6	R6	7	7	7		7	—	
公園		鴻ノ巣児童公園	栄町	直	1,000㎡	R7	R7	R7	R7	8	8	8		8	—	
公園		小台児童公園	栄町	直	2,500㎡	R7	R7	R7	R7	8	8	8		8	—	
公園		五斗蒔児童公園	栄町	直	1,100㎡	R7	R7	R7	R7	8	8	8		8	—	
公園		道面児童公園	栄町	直	2,600㎡	R8	R8	R8	R8	8	8	8		8	—	
公園		安食台第一近隣公園	栄町	直	20,500㎡	R7	R8	R7	R8	50	50	50		50	—	
公園																
古都保存・緑地保全等事業																
河川																
下水道																
駐車場有効利用システム																
地域生活基盤施設																
高質空間形成施設																
高次都市施設	地域交流センター															
	観光交流センター															
	まちおこしセンター															
	ワーケーション拠点施設															
	子育て世代活動支援センター															
	複合交通センター															
既存建造物活用事業																
土地区画整理事業																
市街地再開発事業																
住宅街区整備事業																
バリアフリー環境整備事業																
優良建築物等整備事業																
住宅市街地総合整備事業																
街なみ環境整備事業																
住宅地区改良事業等																
都心共同住宅供給事業																
公営住宅等整備																
都市再生住宅等整備																
防災街区整備事業																
エリア価値向上整備事業																
誘導施設相当施設	医療施設															
	社会福祉施設															
	教育文化施設															
	子育て支援施設															
	元地の管理の適正化															
合計										164	164	164	0	164		

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負分担	うち民負分担	
地域創造支援事業														
事業活用調査	事業効果分析調査		栄町	直		R10	R10	R10	R10	2	2	2		2
まちづくり活動推進事業	印旛日本医大駅行バス実証実験	安食駅	栄町	直		R7	R8	R7	R8	20	20	20		20
合計										22	22	22	0	22
													合計(A+B)	186

[illegible]

安食駅周辺地区(第2期)(千葉県栄町)	面積	170	ha	区域	栄町安食1丁目・2丁目・3丁目の全部、安食台1丁目・2丁目・3丁目・4丁目・5丁目・6丁目の全部、安食地区の一部、酒直台地区
---------------------	----	-----	----	----	--



安食駅周辺地区(第2期)(千葉県栄町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	【大目標】: 安食駅周辺における都市機能の充実による住みやすいまちづくり 小目標①: 道路のバリアフリー化による、良好な移動空間の確保 小目標②: 公園バリアフリー化による地域住民の快適な住環境の整備 小目標③: 防災拠点整備における地域防災力の強化	代表的な指標	バリアフリー化に対する市民の満足度の割合 (%)	0.183	(R3)	→	0.332	(R10)
			定住の意向の割合 (%)	0.651	(R3)	→	0.693	(R10)
			大規模防災訓練の参加者数 (人)	0人	(R5)	→	300人	(R10)

